

第22期第21回福岡県有明海区漁業調整委員会次第

1 日 時 令和6年5月1日（水） 14:00

2 場 所 福岡県有明海水産会館
(柳川市三橋町高畑271 TEL 0944-73-6166)

3 議 題

- (1) 有明海区における知事許可漁業の新規許可に係る制限措置及び申請期間について（諮問）
資料1
- (2) 水産基盤整備事業について（報告）
資料2
- (3) ノリ養殖の概況について（報告）
資料3
- (4) その他
 - ・漁業法改正に伴う資源管理について（報告）
 - ・海区漁業調整委員の選任について（説明）

6 漁管第 2 1 5 号
令和 6 年 4 月 2 4 日

福岡県有明海区漁業調整委員会
会長 半田 亮司 殿

福岡県知事 服部 誠太郎
(農林水産部水産局漁業管理課)



福岡県有明海区における知事許可漁業の新規許可に係る
制限措置等の公示について (諮問)

このことについて、漁業法（昭和 24 年法律第 267 号。以下「法」という。）第 58 条において読み替えて準用する同法第 42 条（以下「第 42 条」という。）第 1 項及び福岡県漁業調整規則（令和 2 年福岡県規則第 62 号。以下「規則」という。）第 11 条第 1 項の規定に基づき、別紙のとおり制限措置の内容及び申請すべき期間を定めたいので、法第 42 条第 3 項及び規則第 11 条第 3 項の規定に基づき、貴委員会の意見を求めます。



漁業法第 58 条において読み替えて準用する同法第 42 条第 1 項及び福岡県漁業調整規則第 11 条第 1 項に基づく公示（福岡県有明）

1 許可又は起業の認可をすべき船舶等の数及び船舶の総トン数又は漁業者の数その他の制限措置

(1) 県外からの入漁分

漁業種類	漁具の種類 その他の漁業の方法	操業区域	漁業時期	推進機関の馬力数	船舶の総トン数	許可する隻数	漁業を営む者の資格
刺し網漁業	えび三重流し刺し網	福岡県有明海海域 (農林水産大臣管轄漁場を除く。)	1月1日 から12月31日 まで	制限なし	制限なし	120隻	佐賀県有明海区の海面に沿う市町又はそれに隣接する市町に住所を有する者
	すずき流し刺し網						
	雑魚一重流し刺し網						
固定式刺し網漁業	固定式刺し網						
げんしき網漁業	げんしき網						

(2) 県内許可分

漁業種類	漁具の種類 その他の漁業の方法	操業区域	漁業時期	推進機関の馬力数	船舶の総トン数	許可する隻数	漁業を営む者の資格
固定式刺し網漁業	固定式刺し網	福岡県有明海海域 (農林水産大臣管轄漁場を含む。)	1月1日 から12月31日 まで	制限なし	制限なし	9隻	大川市、柳川市、みやま市、大牟田市に住所を有する者
げんしき網漁業	げんしき網					1隻	

2 許可又は起業の認可を申請すべき期間

令和6年5月7日から令和6年6月7日まで

令和6年度水産基盤整備事業概要

- 1 令和6年度水産基盤整備事業 実施予定位置図
- 2 令和6年度水産基盤整備事業 実施予定一覧表
- 3 福岡県有明地区 水産環境整備事業の概要

福 岡 県
水産振興課漁場整備係

2. 令和6年度 水産基盤整備事業実施予定一覧表

福岡県水産振興課

①覆砂工事
【農共分】

事業名	実施主体	地区名	漁場名	事業位置	工事予定期間	事業内容	備考
水産基盤整備事業	福岡県	福岡県有明	210(11)	柳川市地先	R6年6月上旬～9月上旬	覆砂 99,530 m ²	砂厚 35cm
	"	"	210(12)	柳川市地先	R6年6月上旬～9月上旬	" 97,170 m ²	砂厚 35cm
			2漁場			196,700 m ²	

【有共分】

事業名	実施主体	地区名	漁場名	事業位置	工事予定期間	事業内容	備考
水産基盤整備事業	福岡県	福岡県有明	6(2)	柳川市地先	R6年5月上旬～8月上旬	覆砂 278,150 m ²	砂厚 20cm
	"	"	25	みやま市地先	R6年5月上旬～8月上旬	" 90,770 m ²	砂厚 35cm
	"	"	26	みやま市地先	R6年6月上旬～9月上旬	" 95,940 m ²	砂厚 35cm
			3漁場			計 464,860 m ²	

覆砂工事 合計 661,560 m²

②堆積物除去
【有共分】

事業名	実施主体	地区名	漁場名	事業位置	工事予定期間	事業内容	備考
水産基盤整備事業	福岡県	福岡県有明	1-1, 2工区	みやま市地先	R6年6月上旬～9月上旬	浚渫・投入 1,000m	
	"	"	1-3, 4工区	みやま市地先	R6年6月上旬～9月上旬	" 1,100m	
						計 2,100m	

3 福岡県有明地区 水産基盤整備事業の概要

①覆砂工事について

- 1 施工箇所の測量を行い、施工区域に旗竿を立てます。
- 2 音響測探機を用いて施工前の測探を行います。
- 3 海砂採取地から運搬船にて海砂を搬入します。
- 4 工事区域沖合の瀬取り位置にて運搬船からガット船等へ海砂を積み替えます。
- 5 ガット船等で工事区域に海砂を投入します。
- 6 クレーン付台船で均し機(鋼製)を曳いて不陸均しを行います。
- 7 音響測探機を用いて施工後の測探を行います。

②堆積物除去工事について

- 1 浚渫箇所及び投入箇所の測量を行い、施工区域に旗竿を立てます。
- 2 音響測探機を用いて施工前の測探を行います。
- 3 浚渫箇所にたまった堆積物を、グラブ浚渫船等にて掘削します。
- 4 掘削した堆積物を、土運船等にて投入箇所まで運搬し、投入します。
- 5 音響測探機を用いて施工後の測探を行います。

令和5年度ノリ養殖経過

1 採苗

- ・採苗は10月28日から開始。30日までに概ね終了。

2 育苗・冷凍網入庫

- ・10月23日から30日まで珪藻赤潮の発生がみられたが、栄養塩は高水準で推移し、ノリの生育は順調。
- ・冷凍入庫は、11月20日から開始され、11月26日で概ね終了し、良質な網が入庫。

3 秋芽網生産

- ・秋芽網の摘採は、11月24日から開始され、撤去までに4～5回の摘採。
- ・12月4日に渦鞭毛藻赤潮、12月13日に珪藻赤潮が発生。珪藻赤潮の発生が長期間持続したため栄養塩が低水準で推移し、12月4日に一部で色調の浅いノリが確認され、12月11日には沖の漁場を中心に色落ちが進行し重症化。12月21日に回復傾向を確認。
- ・あかぐされ病は採苗後40日目の12月7日に初認。12月18～21日にかけて拡大したが、その後小康状態となり、被害は少なかった。
- ・壺状菌病は確認されず。
- ・秋芽網の生産枚数は平年並みであったが、単価高により生産額は過去最高。

秋芽網	生産枚数	3億5千2百万枚	(過去5年比100%)
	生産金額	87億9千3百万円	(過去5年比198%)
	平均単価	24.96円	(過去5年比+12.37円)

4 冷凍網生産・三期作

- ・高水温や晴天が続く珪藻プランクトンが長期にわたり増殖したため、栄養塩が低水準で継続。このため、海況を見ながら2度の延期を経て2月3日に冷凍網を出庫。
- ・冷凍網の張り込み作業は、7日までに概ね終了し、冷凍戻りは良好。
- ・12月に発生した珪藻赤潮は冷凍出庫後も継続し、栄養塩は降雨時に一時的に増加する場合を除き、低水準で推移したため、2月7日に沖の漁場を中心に色落ちが重症化し、2月9日以降、岸の漁場の一部を除いて全域に拡大。
- ・冷凍網の摘採は、2月10日頃から開始され、7～8回の摘採。
- ・あかぐされ病は出庫10日後の2月13日に感染が確認され、2月19～21日にまとまった降雨があり、高水温、低比重により病勢が強くなり、2月22日には重症化。その後、一時的に回復したが、小潮時には再び重症化し、漁期を通じて蔓延。
- ・壺状菌病は3月8日に初認され、3月末に一部の漁場で重症化。
- ・3月下旬の降雨による河川流量の増加により、3月25日頃から栄養塩が回復したため、一部の漁場で三期作となる網の張り込みが開始。4月上旬から中旬にかけて1～2回摘採され、品質は栄養塩の回復によって概ね良好。
- ・4月17日までに網の撤去、4月30日までに支柱の撤去を終えた。

5 生産状況

生産枚数	7億6千5百万枚	(過去5年比 67%)
生産金額	160億8千4百万円	(過去5年比 110%)
平均単価	21.02円	(過去5年比+8.15円)